



にゅーすれたーふじやま・長泉

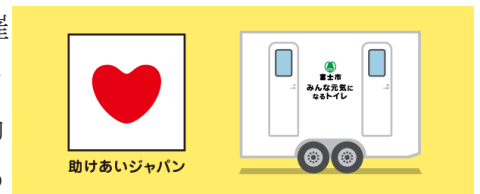


2017.12

みんな元気になるトイレ富士市!

パナソニックエイジフリーショッブ

11月18日(土) ☆ふじ☆Bousai2017 がふじさんメッセで開催され、(株)コーヨーも「ペットのための災害時の備えについて」というテーマで参加しました。やはり目を引いたのは災害時用の移動トイレでした。9月号でもご紹介しましたが、富士市が全国で初めて導入したそうです。そしてほとんどがクラウドファンディングなどの寄付で購入することができました。以下はトイレトレーラーについて富士市のHPより抜粋しました。



「トイレトレーラーを購入するための資金 1,000 万円を富士市内外の皆様のご支援により調達したいと考え平成 29 年 7 月 16 日～9 月 16 日までクラウドファンディングを実施しました。9 月 16 日最終日に目標金額の 1,000 万円を達成、最終的には目標を大きく上回る 10,573,000 円ものご支援をいただきました。寄附や SNS での情報発信など様々なご支援・ご協力、本当にありがとうございました。このプロジェクトは、助けあいジャパンによって企画されました。1 台あたり 4 部屋の水洗トイレが付いたトレーラーを、全国の 1741 市区町村が 1 台ずつ所有し、大規模災害時に各自治体からトイレトレーラーを被災地へ派遣することで、災害時における被災地のトイレ不足の問題を改善しようとするものです。阪神淡路大震災以降、大きな地震が起こるたびに被災地のトイレ不足問題が起こってきました。本市では、計画的に災害用トイレを備蓄してきましたが、避難が長期化したときに快適に使用できるトイレは不足することが予想されています。これは、全国の自治体共通の課題でもあります。今回、助けあいジャパンからこのみんな元気になるトイレプロジェクトについてお話をいただいた際、このように全国の自治体と助け合うネットワーク作りができれば、避難が長期化したときの課題も解決できると考え、全国の第 1 号として参加することを決意しました。7 月 16 日には、田子浦みなと祭りの会場で、このプロジェクトの発起人で助けあいジャパン代表理事の石川淳哉さんから、同プロジェクトの開始宣言を行い、市長からは、富士市が他の自治体に先駆けトイレトレーラー 1 台を常備し、市職員(ヒト)とトイレトペーパーなどの物資(モノ)と共に被災地に駆けつける体制を確立し、このプロジェクトを全国に広めていくことを発表しました」

①



1台あたり4部屋洋式の水
洗トイレが付いたトレー
ラーを、

②



全国の1,741市区町村が
1台ずつ所有する。



☆ふじ☆Bousai2017の様相です

③



被害の大きい被災地に速
やかに集結できたなら、
災害時のトイレ問題が改
善される。

④



助けあいの輪を富士市
から全国に広げましょ
う。



日本中にもっと増えるといいですね。いざというときに困るのがトイレです。

渡邊啓視